

**令和 6 年度
KLLP
(KONGO Living Lab Project)**

**UR金剛団地における
日本人住民と外国人住民との
多文化共生サポートプロジェクト
発表者 北村、枡矢**

❀経緯と目的❀

急増したUR金剛団地に住む外国人住民（主にネパール人留学生）
と日本人住民との相互理解のきっかけ作り

❀概要と主要日程（開始時の予定）❀

日程	目標	活動
前期（4月～8月）	外国人に日本の文化・習慣を知ってもらう	日本の団地に住む際のマナー動画の作成
後期（9月～12月）	日本人にネパールの文化・習慣を知ってもらう	ネパール祭りの開催（11月30日）

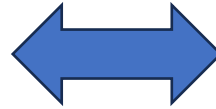
UR金剛団地



外国人住民
ネパール・ベトナム



日本人住民



協働

相互理解

聞き取り

富田林市

社会福祉
協議会

国際交流
協会

協力
情報共有

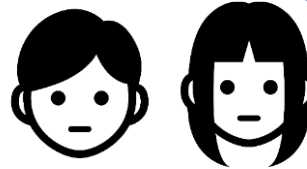
UR

講義

- ・「富田林市多文化共生指針」の理解
- ・社会調査手法を学び聞き取り調査
- ・イベントの企画・広報・運営
- ・成果の調査・報告・振り返り

主体的学び

大阪大谷大学



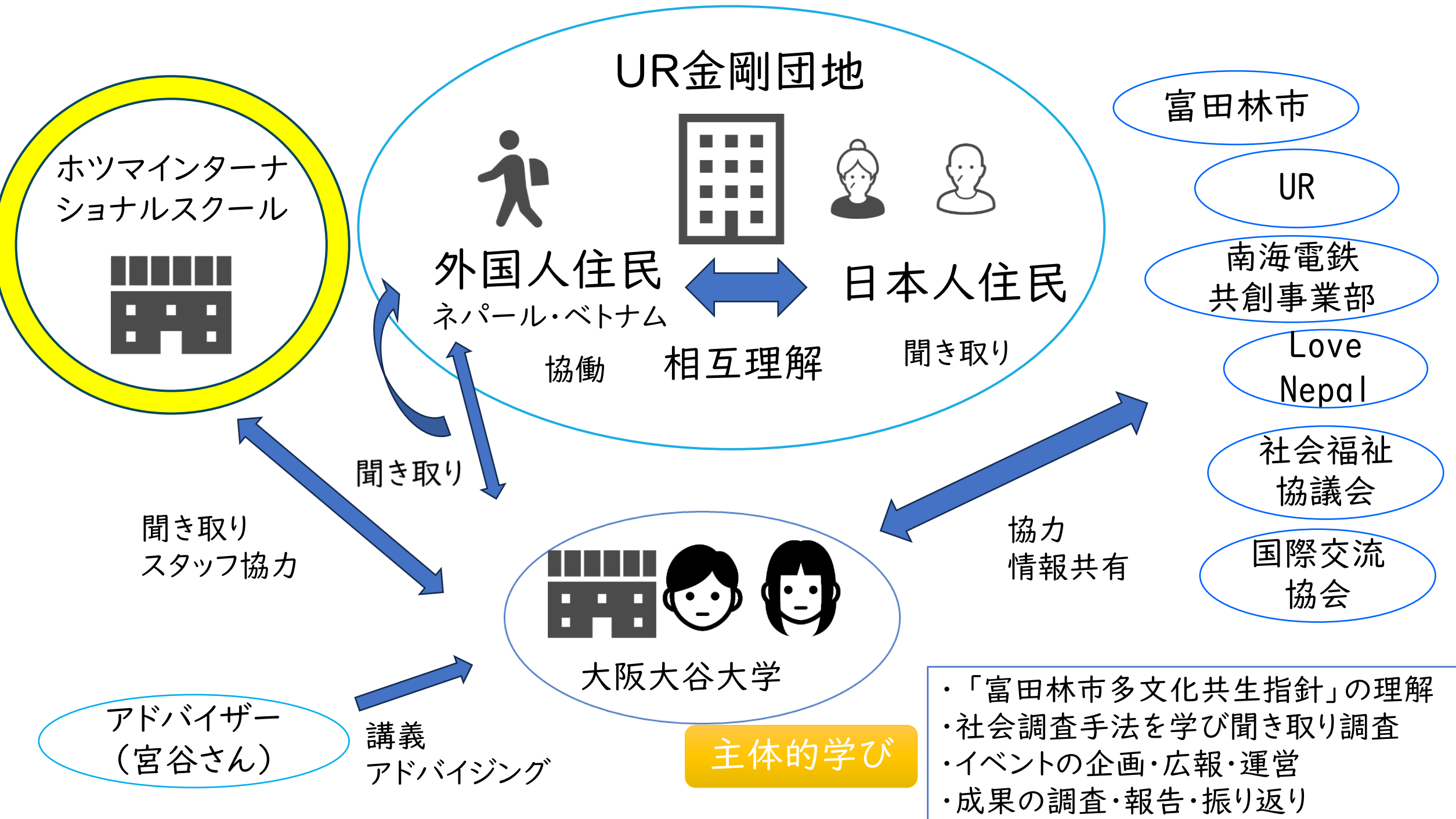
協力
情報共有

見学
聞き取り

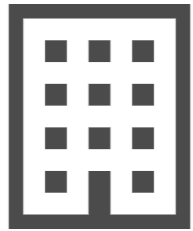
聞き取り

宝塚医療大学



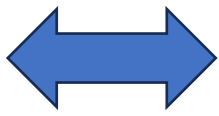


UR金剛団地



外国人住民
ネパール・ベトナム

日本人住民



協働

相互理解

聞き取り

富田林市

UR

南海電鉄
共創事業部

Love
Nepal

社会福祉
協議会

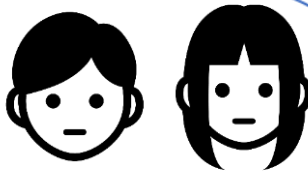
国際交流
協会

ホツマインターナ
ショナルスクール



聞き取り

聞き取り
スタッフ協力



大阪大谷大学

協力
情報共有

アドバイザー
(宮谷さん)

講義
アドバイジング

主体的学び

- ・「富田林市多文化共生指針」の理解
- ・社会調査手法を学び聞き取り調査
- ・イベントの企画・広報・運営
- ・成果の調査・報告・振り返り

前期

富田林市多文化共生推進指針の内容理解



富田林市金剛地区再生室の方から話を聞く



金剛団地にてUR窓口職員の話聞く



留学生の状況を知るためのアンケート作成





阪南大学中西ゼミ主催の
ネパールカフェに参加



目的（目標）などについての再確認
最終成果物についての話し合い



代表2名＋先生が宮城県ワークショップ参加、
他大学とともに意見交換を行う



後期

午前：アドバイザーによるプレスリリース講座
＋ワークショップ
午後：学生の企画発表＋FB＋FW



前回は踏まえての意見交換、情報共有、
ネパール祭りについての話し合い

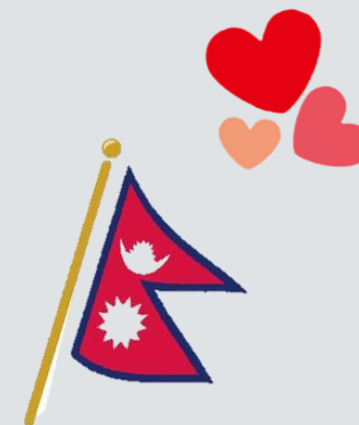


ネパール祭りと今後の活動についての話し合い



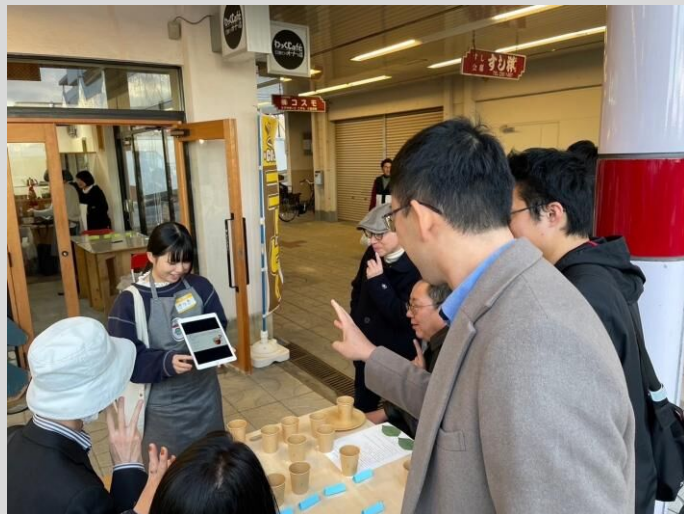
ホツマインターナショナルスクールで、
わくわくカフェで出すお茶・日本での課題について聞く

わくわくカフェ





わくわくカフェ





世界のお茶クイズ



第1問

雨の日にモンゴルではあるものがよく食べられています。
それはいったい何でしょう？

- ①ミルクティーごはん
- ②おすし
- ③餃子の入ったミルクティー
- ④ミルクティーラーメン



こたえは.. ③餃子の入ったミルク
ティー

Banshtai Tsai (バンシタイ・ツアイ)という食べ物で、

日本でいうスープのような食べ物です。
モンゴルでは、雨が降ると、さむくなりやすいので
体をあたためる



れているそう

アンケート結果

どんな人？ ➡ 金剛地区やその他の大阪府が多かった。
10～20代と50代以上が多く参加してくれた。

イベントはどうだった？ ➡ 約90%が「とても楽しかった」と回答。
今後の交流は約70%がしたいと回答。

外国人が増えることに対してどう思うか？

➡ 「好ましい」「どちらかといえば好ましい」が
約90%を占めた。

理由 ➡ 文化への興味、人口減少や少子高齢化が進む日本で
いい刺激になるのではないかと。

付箋で得た意見

★多文化共生に必要なことや自分ができることについて★

- ・自分たちで互いの文化を理解すべき
- ・コミュニケーションを増やすべき など

★多文化共生のために今後どのようなイベントをしたいか★

- ・「料理」に関するイベント
- ・「交流」ができるイベント など



【取組の成果】学生の学び

期末レポートより

- ・市や大学、企業などの様々なつながりがなければ多文化共生社会は成り立たないということを学んだ。
- ・多文化共生は他国を知ると同じくらい**自国を知ることが重要**であると学んだ。
- ・一人で考え込むのではなく、**周りの意見を聞いて取り入れて**様々な視点から見られたものを今後作っていきたい。
- ・計画を進めるためには**目標設定が重要**であることを学んだ。
- ・**人とのコミュニケーションの大切さ**に気がつき、受動的ではなく**主体的**にならないといけないのだと学んだ。
- ・異文化交流をしたことにより**新しい視点**を獲得した。得た知識や発見を忘れず社会に出てもたくさんの発見ができるように**何事も積極的に**取り組んでいきたい。
- ・人に理解してもらうための算段が必要だと感じた。上手くいかないことがあっても**最後までやり遂げたい**。